

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第25号 平成25年8月25日

惜しかった5回の攻撃・・・

投手は奪三振よりコントロール!

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	0	1	0	0	0	1	1	3
H	2	0	0	0	1	2	×	5



8/25(日)ハリウッドと大井埠頭公園野球場で、Victoria予選リーグを行った。当日は久々に天候が心配になる陽気であったが、午後には回復し、グラウンドコンディションも全く気にならない状態であった。今日はビジターなので、先攻でゲームは始まった。初回は、三者凡退、その裏の守備、マウンドに上がったのは光希、その入りはボールからであった。球は走っているように見えるが、辛めのジャッジで、先頭を四球で出塁を許す。が、ここから、二者連続で四球を与え、初回から無死満塁と非常に苦しい場面となってしまった。しかし、相手四番を空三振に斬り、一死満塁としたが、残念ながら、次打者には押し出し・後続には右犠飛を決められ、初回から無安打で2点を失点した。しかし、この辛めのジャッジは、相手投手にも襲い掛かる。この回先頭の昌平・浅沼が安打で出塁、6番は倒れたが、後続が二連続四球を選択し、こちらも押し出しで1点を返した。更なる得点チャンスであったが、後が続けずこの回最少得点の1点止まりであった。その後、相手投手は変わるがゲームは均衡状態が続く。場面が動いたのは、5回の相手攻撃、ピリッとしなない光希は、この日も四球の連発、失策も絡まり4連続四死球でまたもや、無安打で失点をする。しかし、翌6回に、我がチームも反撃を見せた。今日2連続三振を喫している祐太郎が、三遊間安打で出塁、昌平は四球を選択し無死一・二塁、5番の一振りに期待が掛かったが、残念ながら空三振で一死となったが、続く光希が初球を振りぬき打球は右中間へ、この打球で、二塁より一挙祐太郎が生還し1点返す。まだまだ場面は同点チャンス、ここで、打席に入ったのが7番深沢、彼に出されたサインはスクイズ、このサインに打者はバット変更でその指示に応えようとする。その初球、きっちりそこそこのバントを決めたが、三塁走者が残念ながら、サイン見落としにより、RPでアウトになる。が、まだ二死二・三塁とチャンスは続いたが、後続が空三振に倒れ、同点のチャンスを逸してしまった。その裏、先頭をまたまた死球で出塁、その後二盗を決められ、後続に右前安打を放たれたが、ホームまでの進塁を許さず、ここから、2連続三振を奪い、二死二・三塁とピンチの場面は続いた。ここで、何とか0封に抑えたい我がチームであるが、1ボールからの2球目打者が放った打球は捕手へのファールフライ、誰も0封と思った瞬間、捕球した打球が、キャッチャーミットよりこぼれ、アウトにする事が出来ず、これが2-2からのセンター前安打を呼び込むことになり、この回2点を失点し、ほぼ勝利を逃す事になる。が、最終回にもまだドラマが待ち構えていた。一死後先頭哲也が内野安打で出塁、後続は倒れ二死となったが、先程安打を放った祐太郎が四球を選択し出塁する。ここで、昌平が三遊間安打で一挙哲也が上手いスライディングで生還したが、後続が続かず、ここでゲームセットとなった。

今日を振り返ってみると、大きく2点であろう。

1. 与四球の多さ：相手投手もジャッジの辛さから与四球は2投手で6個を記録したが、こちらは10個である。三振奪取も多かったが、今期投手陣のワーストかも知れない。やはり、守備にもリズムが有るので、投手はストライクゾーンで勝負し、打たせて取るのを心情として欲しい。
2. サインの見落とし：このシーンは同点に繋がる重要なシーンで有った事は間違いない。ましてや決まっていれば同点になっただけに、この失敗は非常に痛い結果となった。やはり、サインを見る習慣、その内容の再確認を今後も心がけよう！

最後に、本ポジションでは無かったが、捕手のフライは、ミットの構造から弾きやすいので、下で受け取るようにしましょう！
惜しかった金星ゲットただけに、今日出来なかった事は、次節以降に繋げていこう！